

## 「ちがい」を認め合おう

日本には多くの外国人が住んでいます。しかし、言語、文化、生活習慣等の違いから、アパートやマンションの入居拒否、公衆浴場での入浴拒否、飲食店や商店への入店拒否など、様々な人権問題が発生しています。

今後ますます国際化が進むなかで、外国人のもつ文化を尊重し、その多様性を受け入れ、共に生きていく社会を築いていくことが必要です。



金沢市

## ハンセン病・エイズに対する偏見をなくそう



### ハンセン病

ハンセン病は、かつては「らい病」と呼ばれ、世界中で隔離政策などたくさんの差別を受けてきた病気です。ノルウェーの医師ハンセン氏によって原因となる菌が発見され、遺伝病ではなく、極めて弱い感染症であることがわかりました。現在は、治療により障害を残すことなく完治する病気となりました。

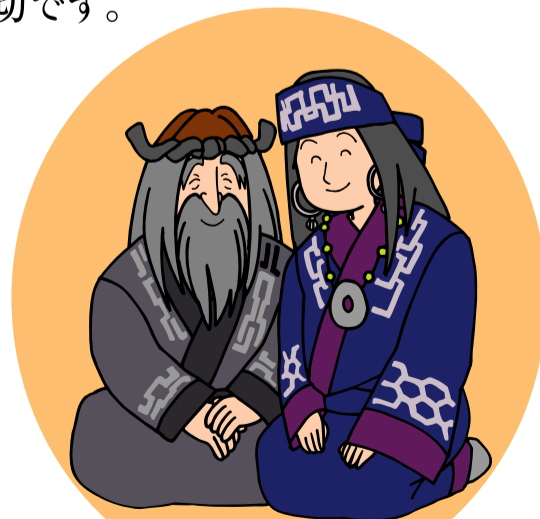
### エイズ

エイズ(後天性免疫不全症候群)は、HIVというウイルスによって引き起こされる病気です。HIVが体の中で増えると、人体に備わっている抵抗力(免疫)がなくなり、健康なときにはかからないような様々な感染症などにかかってしまいます。しかし、非常に感染力の弱いウイルスなので、日常生活でうつることはありません。また、現在は、性行為による感染症がほとんどであるため予防が可能です。

金沢市

## アイヌの人々に対する理解を深めよう

明治政府は、アイヌ民族独自の生活習慣を禁止し、日本語の使用を強制するなどの同化政策をとったため、その独自文化が失われてしまいました。このような状況を改善するために、アイヌの人々の文化を振興し、伝統等に関する知識の普及と啓発を目的とする「アイヌ文化振興法」が、1997年に成立しました。アイヌの人々の民族としての歴史、文化、伝統や現状についての理解と認識を深め、その人権を尊重していくことが大切です。



金沢市